

表題

コロナワクチン接種予約受付方法の見直しについての陳情

趣旨

4月から毎回ネットと電話で挑戦していますが、ネットは予約開始前に事前入力準備して開始と同時にクリックしても、アッという間の2分程度で、終了。電話は延々と繋がらず・・・(通常の市役所への電話も繋がらない困る) 青梅市の65歳以上の人口は、32260人。5200回/月の接種ペースでは単純計算で1回の接種だけでも6カ月掛かります。それで、市民に予約の為に貴重な時間を延々と負担を強いるのは、酷いです。

電車通勤、基礎疾患を持っている者としては、非常に危機感を感じています。もっと柔軟でスムーズな予約方式にして頂きたい。例えばストレス無く順調に予約が進んでいる福島県相馬市の地域選定方式の様に。毎月保健所に市が提出している地域別・年齢別人口動態を活用して、年齢毎・優先地域設定方式+準優先地域(キャンセル対応)方式の併用案を検討して頂ければと思っております。

次に現行の接種方式と見直し案の比較を以下に記載しました。

- 1. 市内全域に会場を分散し一斉に接種を行っている現在の方式のデメリット。
 - ①. 通信業者による交通制限を行っても、現在も回線が交通渋滞し、Webも電話も繋がらず市民のストレス・負担が大きい。通常の市役所の市民サービスや業務に支障が生じている。
 - ②. 万一、市内全域で行って散発的な感染の生じた場合、特定・収拾が難しくなる。
- 2. 今回、陳情の地域を絞った見直し案の場合のメリット。
 - ③. 1-①のデメリットが緩和・軽減される。
 - ④. 1-②の特定が容易になり、対策が打てる。
 - ⑤. スタッフの配置・負荷の軽減、身体的不自由者等への交通手段の対策が容易。

65歳未満の接種時期には、ワクチン数量が増えたとしても、方式を変えていかないと更に厳しい状況になると思いますので、市長部局へ見直しの検討について議会から申し入れる様お願い致します。

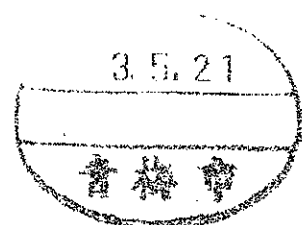
上記のとおり陳情いたします。

令和 3年 5月 20日

陳情者住所 * * * * *

氏名 * * * * *

電話 * * * * *



青梅市議会議長 鴨居 孝泰 殿